

製品名: ミトコンドリア分裂1タンパク質ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02726**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.22mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 17 kDa; Observed MW: 17 kDa

抗原情報

遺伝子名	FIS1
別名	CGI135; FIS1; hFis1; TTC 11
遺伝子ID	51024
SwissProt ID	Q9Y3D6
免疫原	ヒトTTC11の合成ペプチド

背景

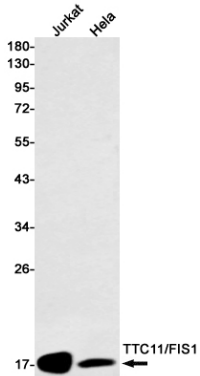
ミトコンドリアネットワークの断片化と核周縁部のクラスター形成を促進する。ミトコンドリアから細胞質へのシトクロムcの放出を

誘導し、最終的にはアポトーシスを誘導する。また、ペルオキシソームの分裂も媒介する。

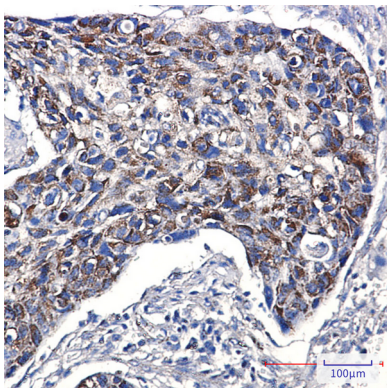
研究分野

細胞生物学

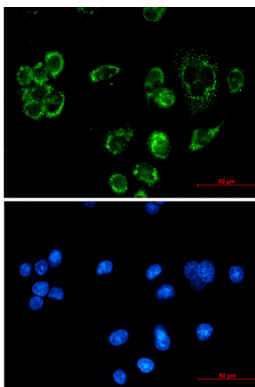
画像データ



ミトコンドリア分裂 1 タンパク質抗体を使用した、Jurkat、Hela 溶解物中の TTC11/FIS1 のウエスタンブロット分析。



TTC11 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



TTC11/FIS1 抗体および DAPI (青) を用いた MCF-7 における TTC11/FIS1 (緑) の免疫細胞化学分析